

ECOいい暮らし! 省エネ大辞典

毎日燃えるように活躍 ガス給湯器

現在は、オール電化の家も増えてきておりますが、ガスもまだまだ活躍中です。
今月は暑い日も寒い日もお湯を作り続けるガス給湯器のお話しです。

省エネのコツ! 溜め洗いを習慣に!

お湯を出しっぱなしでの食器洗いはエネルギーの無駄です。流し台のボールなどに洗い物を溜めておき、ぼろ布やヘラを使って汚れを落としておきましょう。使うお湯の量が減って節約になります。一回一回の差は僅かですが、毎日の作業にこれを習慣にすればその差は大きいものとなります。



省エネ行動と省エネ効果

～時には冷たくすることも優しさです～

食器を洗うときは低温に設定しましょう。

1年間でガス【8.8㎡】の省エネ

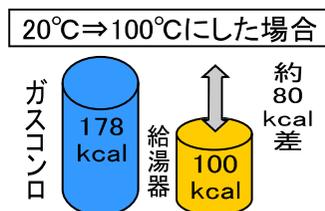
金額にして、1年間で約1500円の節約

☆原油換算【10.21L】 ☆co2削減量【20.0kg】

65lのお湯を40℃から38℃に下げ一日2回手洗いした場合

給湯器はエネルギー効率が良い!

お湯を沸かす時は、水からではなく給湯器のお湯を沸かしましょう。



家づくりQ&A

Q. 土地が決まっていないのですが、新築の相談できますか？

A. もちろん可能です！
それどころか、先にどのような建物を建てたいかを決めておけば、どんな土地を購入したらいいのかが解ってきます。
例えば、あなたが2世帯住宅を希望し、車の駐車スペースが2台欲しいなどの要望があった場合、先に土地が決まっていればその土地に合わせて建物の配置や大きさを決めますが、土地を購入する前であればその要望に土地を合わせる事が可能です。総予算が決まっていれば、そこから建物の金額を引いた額が土地に充てることができる金額となり、どのくらいの金額の土地を購入すればいいのかも把握できます。

「家づくり」や「住まい」に関する
疑問はありませんか？
あなたの“知りたい”を教えてください。
ミズセイホームがお答えします！

お問合せ、ご相談は
下記連絡先まで↓

電話 019-601-6010



 **ミズセイホーム**

〒028-3603 岩手県紫波郡矢巾町西徳田5-201-2
電話 019-601-6010 FAX 019-697-2530
URL <http://www.mizusei.com>



レタスと
アスパラの
炒めもの

■材料

グリーンアスパラガス 8本 レタスの葉 4枚
にんにくの薄切り 1/2かけ分
オリーブ油 大さじ1と1/2 塩 小さじ1/4
しょうゆ 小さじ1/2 こしょう 少々

01

アスパラは根元の堅い部分を切り、さらに根元の皮をむいて長さ3~4cmの斜め切りにする。

02

レタスは食べやすい大きさにちぎる。

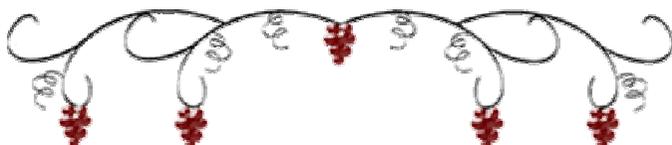
03

フライパンにオリーブ油、にんにくを入れて、弱火にかける。(辛いのが好きな方は唐辛子1/2も入れましょう)

04

アスパラの色が鮮やかになったらレタスと塩・しょうゆ・こしょうを加えて手早く炒め合わせたら完成です。コツは、アスパラを根本から入れる事です。

冷蔵庫に残りがちな野菜を使った簡単でおいしいヘルシーな一品です。



今月の住宅ローン相談事例

申込人：33歳 公務員 勤続10年
年収410万円(平成23年) 年収390万円(平成22年)
土地決済の状況によるフラット35の申込!

(資金計画)		(資金調達)	
土地	1,000万円	自己資金	150万円
建物	1,300万円	借入金額	3,300万円
諸費用	150万円		
合計	3,450万円	合計	3,150万円

今回は住宅ローンの申込時期がポイントです。住宅金融支援機構のフラット35の申込の場合、1月~3月中の申込は平成23年分の源泉徴収票が既に出ているとしても、平成22年分の源泉徴収票の金額が借入金額を計算する年収の基準となります。当社にご相談頂いた際、土地の決済を急いでいる為、3月中の申込を希望されていましたが、借入額の年収基準を平成22年分の390万円では算出すると借入希望額の3,300万円を満たすことができませんでした。上記のポイントから当社が提案させて頂いたが下記の①~②です。

- ①土地の決済を伸ばせない場合…自己資金の増額・工事費の見直し又は、他の民間金融商品の選択。
 - ②土地の決済を伸ばせる場合…23年分の年収が審査の対象となる24年4月以降の申込。今回は、土地の決済を先に伸ばして頂けたので、4月以降にフラット35を申込む予定で現在進めています。以上のように、年度をまたぐ場合は年収を十分確認する必要があります。
- ※実際の相談事例を元に、属性を若干変更して事例設定させて頂いております。



story.2 ~解体屋さん~

解体屋さんは、既存の家の解体・撤去を行います。家を建てる大工さんや職人さん達とは、正反対のお仕事です。もちろん使う道具も全く違い、大工さんの象徴的な道具がトンカチならば、解体屋さんはバールになるでしょう。

一般的な印象では、重機を使ってガツガツと壊していくイメージですが、住宅は様々な種類の建材が使われているので、処分する為の分別をしながらの細かい解体作業となります。解体屋さんは重機で解体する派手さと、分別を行う地道さを持ち合せているのです。この様に建材の種類・分別方法など、解体屋さんならではの知識が必要となります。

解体が終わったら、地面を綺麗に整地して工事完了です。家づくりがスタートする前には、こんな業者さんが一生懸命仕事してくれているのです。

間取りづくりのPoint



~設計ソフトの活用~

ご自分でプラン作りをしませんか?

インターネットで「設計ソフト」と検索すると、簡単な図面設計ソフトが無料ダウンロードできます。プロ用のものとは違い、簡単に操作でき、使い勝手も良いものも沢山あります。自分でプランニングすることで、自分の希望する間取りが何坪ぐらいの家なのか、各部屋の広さの把握など、いろいろなことが分かってくるものです。もちろん、最終的には建築士のチェックが必要ですが、意外とオススメです。

